

オーバーシー・チャイニーズ銀行(OCBC)

金融引締めで純金利マージン拡大見通し。ブロックチェーン使用の私設取引所と戦略的提携で環境金融の最先端へ
シンガポール | 銀行 | 業績フォロー



フィリップ証券
A Member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG OCBC:SP | REUTERS OCBC.SI

- 2022/12期3Q(7-9月)は、総収益が前年同期比23.1%増、純利益が同31.1%増。純金利収益増、経費率改善、与信関連費用減少が貢献。
- 純金利マージンは、シンガポール金融庁による金融引締め継続を背景に3Qが同0.5ポイント上昇の2.1%へ拡大。更なる拡大が見込まれる。
- ブロックチェーン使用の排出量取引等の私設取引所「MVGX」と戦略的提携契約を締結。COP27を経て最先端の環境金融への注力に期待。

What is the news?

11/4発表の2022/12期3Q(7-9月)は、総収益が前年同期比23.1%増の31.52億SGD、経費率が同6.1ポイント低下改善の40.3%、貸倒損失引当金繰入額が同5.5%減の1.54億SGD、純利益が同31.1%増の16.05億SGD。シンガポール金融当局による金融引締めの継続を背景とした純金利収益の伸びが貢献して増収。経費率の改善、不良債権処理費用の減少に加え、関連会社からの持分法投資利益も同25.5%増(2.56億SGD)も貢献した。前四半期比では、総収益が9.5%増、純利益が8.4%増と伸びたことに加え、不良債権比率(NPL)が0.1ポイント低下の1.2%と改善した。

3Qの総収益の内訳は以下の通り。①純金利収益は前年同期比44%増の20.99億SGD。純金利マージンが同0.5ポイント上昇の2.1%に加え、貸出残高が同6%増と伸びたことが増収に貢献した。②非金利収益は同4%減の10.53億SGD。その内、トレーディング収益が同2.3倍の1.94億SGD、生命保険・損害保険からの収益が同19%増の3.70億SGDと伸びたものの主力の手数料・コミッション収益が同20%減の4.53億SGDだったこと、および投資有価証券売却益がゼロだったことが響き減収となった。

How do we view this?

2022/12期会社計画は、期末貸出残高伸び率が前期比1桁台半ば、4Q(10-12月)の純金利マージンが2.1%超、通期の信用コスト(bps:ベース・ポイント、1bpsが0.01%)が10台前半~半ば(1-9月実績14bps)。

シンガポール通貨金融庁(MAS)は10/14、主要通貨に対してシンガポール・ドル(Sドル)高へと誘導し、金融を一段と引き締める方針を発表した。MASによる金融引締めは、2021年10月にそれまでの金融緩和から方針転換した後、2022年1月、2022年4月、2022年7月に続き、5回連続となる。OCBCにとっても純金利マージンの拡大傾向が続くと期待される。

同行は今年4月、ブロックチェーンを使った排出量取引などの私設取引所「メタバース・グリーン・エクスチェンジ(MVGX)」と戦略的パートナーシップを締結。企業間で取引されるカーボン・クレジット(排出枠)に係るCO2の排出量やその内容が改ざんされないように、ブロックチェーンによる非代替性トークン(NFT)の技術を使うものだ。11月にエジプトで開催された「気候変動枠組条約締約国会議(COP27)」では脱炭素経営への変革を促すグリーンファイナンスへの関心の高まりが示された。最先端デジタル技術を導入した環境金融への注力が注目されよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=100.73円

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F	2023/12F
当期利益(百万SGD)	4,869	3,586	4,858	5,996	6,798
EPS(SGD)	1.12	0.80	1.07	1.34	1.54
PER(倍)	10.99	15.39	11.50	9.19	7.99
BPS(SGD)	10.72	11.09	11.72	12.07	12.83
PBR(倍)	1.15	1.11	1.05	1.02	0.96
配当(SGD)	0.53	0.32	0.53	0.61	0.70
配当利回り(%)	4.31	2.60	4.31	4.96	5.69

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) 0.61 (予想はBloomberg)
終値(SGD) 12.31 2022/11/28

会社概要

1932年に3つの国内銀行が合併し設立。銀行、生命保険、損害保険、資産管理、投資保有、先物・株式仲介の事業を行う。5つの事業セグメントを通じて運営する。

①グローバルコンシューマー/プライベートバンキングセグメントは、個人顧客に製品とサービスを提供する。

②グローバルコーポレート/インベストメントバンキングセグメントは、大企業や公共部門から中小企業までの機関顧客にサービスを提供する。

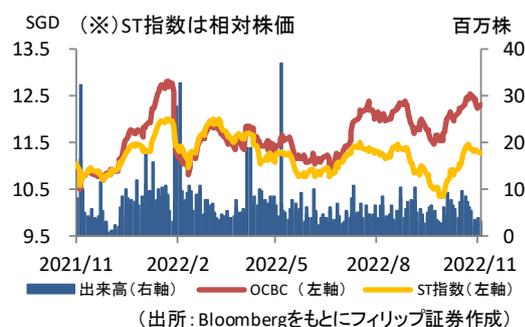
③グローバルレジャー・アードマーケットセグメントは、外国為替活動、マネーマーケットオペレーション、債券およびデリバティブ取引を行い、ストラクチャードレジャー商品および金融ソリューションを提供する。

④保険セグメントは、生命保険と一般保険を提供する。

⑤OCBC Wing Hangセグメントは、各商業銀行と関連金融サービスを提供する預金、法人・個人向け融資、投資銀行、プライベートバンキング、国際貿易金融、アセットマネジメント、株式注文取次、保険などのサービスを提供する。

企業データ(2022/11/28)

ベータ値	1.14
時価総額(百万SGD)	55,734
企業価値=EV(百万SGD)	-
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	63.9



主要株主(2022/11)

1.SELAT PTE LTD	14.45
2.LEE FOUNDATION SINGAPORE	4.21
3.ブ ラックロック	2.24

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>